

# 経営比較分析表

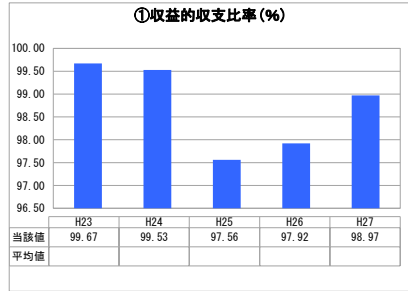
長野県 御代田町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	3.43	97.24	4,536

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,494	58.79	263.55
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
533	0.17	3,135.29

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



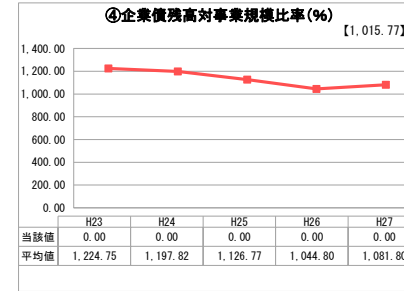
「単年度の収支」



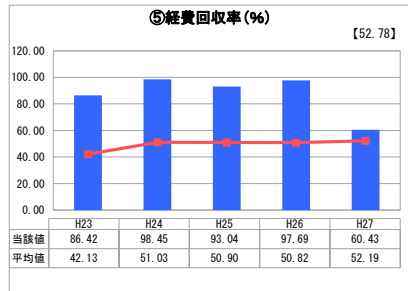
「累積欠損」



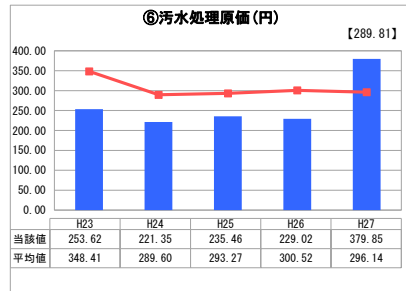
「支払能力」



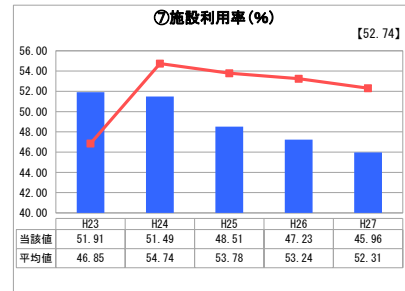
「債務残高」



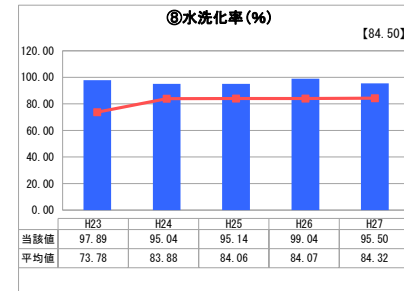
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

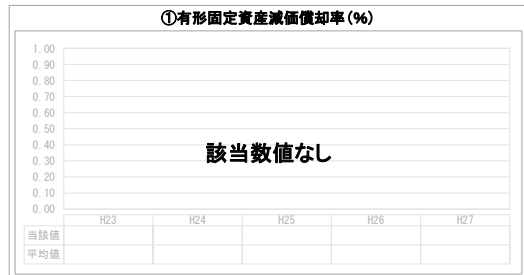


「施設の効率性」

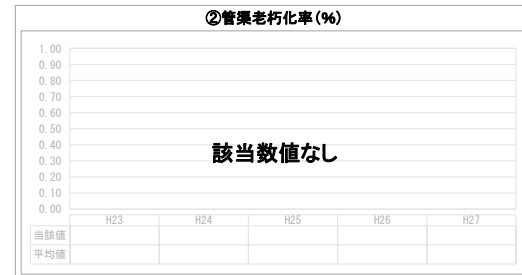


「使用料対象の捕捉」

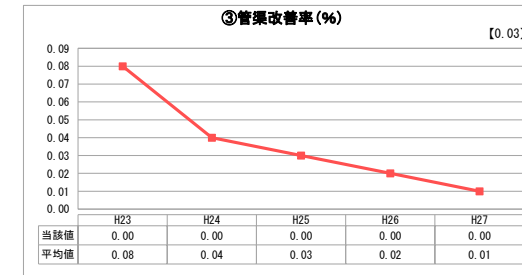
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率  
過去5年間で90%台で推移しています。今後、地方債の償還が進むことで改善が見込まれます。
- 企業債償還高対事業規模比率  
企業債の償還金を一般会計からの繰入金ですべて賄っているため、数値は0となっています。
- 経費回収率  
経年比較、類似団体の平均値との比較でも、高い水準で推移してきました。事業規模が小さいため、大きな修繕工事等が発生すると数値に大きく反映します。平成27年度も修繕工事を行ったことにより数値が減少となりました。
- 汚水処理原価  
平成27年度は修繕工事を実施したため維持管理費が増加し、その影響で汚水処理原価も上昇しました。経年比較では変動があるため、今後、維持管理費を抑制していく必要があります。
- 施設利用率  
流入汚水量の減少に伴い、施設利用率は年々減少傾向にあります。
- 水洗化率  
水洗化率(接続率)は100%に近い高水準を維持しています。

### 2. 老朽化の状況について

農業集落排水施設については、供用開始から19年以上が経過していますが、定期的な点検作業と状況に応じた修繕を実施することで施設の延命化を図っています。今後も計画的に改築更新を実施していく必要があります。

### 全体総括

農業集落排水事業を今後継続的に実施するためには、維持管理費の削減、改築更新の計画的な実施による支出の平準化、適正な料金設定など総合的に取り組み、経営の健全化・効率化を目指す必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。